



11月号

横浜市立中田小学校

学校だより

第477号



中 田 小

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

令和2年10月30日

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



新しい学校生活の様式を求めて

副校長 鎌田 健二郎

10月の集会は全校テレビ放送で「まちがいさがし集会」でした。どんな集会が始まるのかと職員室のテレビで見ていたら、委員会の児童がカメラの前で2回ポーズを取り、前と後ではどこが変わったかを当てる、という内容でした。1問目は1回目上げていた両手が2回目では下がっているのと1回目と2回目ではマスクが変わった、というのが答えでした。人数が増えたり、ポーズだけでなく着ている服の前後が変わったり、かぶっている赤白帽の色が変わったり、中には委員会の児童が委員会担当の教員にすり替わったり、とテレビ番組のように趣向をこらしながら問題は続いていきました。「当てる」といっても、出題の前に「分かった人は声を出さずに手を挙げて合図してください。」という声かけはあったのですが、教室の中は大きく盛り上がっていたことでしょう。後から聞いたところによると、集会委員会では、全校で集まるこれまでのような集会は難しいということから、みんなが楽しめる新しい集会をつくろう、と考えてきたのだそうです。細かいところまで映して見せることができる、テレビならではの長を生かした今回の集会になったとのこと。今後もテレビ放送ならではの楽しめる集会在期待できそうです。

一方、10月22日には、6年生の学年運動会が行われました。夏休み前から各クラスの実行委員を決め、夏休み明けから実行委員会で話し合いを続けてきました。種目やルールを自分たちで考えたり、分担を決めて進行をしたり、また、対抗形式もクラス対抗であったり、とこれまでの運動会とは違う形の運動会が行われたのです。当日は、天候にも恵まれ「全力・協力・団結力」という学年運動会のスローガンの下、児童は精一杯各種目に取り組んでいました。保護者の方にもたくさん参観にお越しいただき、声は出せずとも精一杯応援をしていただきありがとうございました。これまでと形は違っても、6年生にとっては小学校生活最後の運動会として大きく心に残ったことでしょう。

このように、児童主体の活動による委員会活動でも学年の行事でもコロナ対応が重視される状況の中、これまでとは違う新しい形を考えて実施をしています。各学年の校外学習も、これまで公共の交通機関を使って実施していたものを換気機能に優れた(5分に1回で車内の空気は入れ替わっているのだそうです)バスに変更したり、バスで実施していたものも学年によっては1台あたりの人数を減らすために学校予算から支出をしてバスの台数を1台増やしたりして新しい形での実施を進めています。

5年生による水田の稲刈りも先日終わりました。先日来お伝えしているように密を避ける形ではありますが授業参観も、もうすぐ実施されます。学校生活の中でも少しずつ日常を取り戻し始めていますが、まだまだこれまでとは違う形での様式を模索しながら教育活動を進めていくこととなります。保護者・地域の皆様にはこれまで通りのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。